

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	
課題名	ロボット支援腹腔鏡下仙骨腫固定術の機能的アウトカムにおける網羅的観察研究
研究期間	倫理委員会・学長承認日 ～2027年12月31日
研究の対象	2022年2月1日～2027年1月31日に当院でロボット支援腹腔鏡下仙骨腫固定術を施行した患者さん
利用する試料・情報の種類	<p>■ 診療情報（詳細：手術時年齢、術前評価項目（病歴、下部尿路症状、排尿機能検査、術前CT/MRI所見）、周術期内容（手術内容：子宮および付属器摘出の有無、術中および術後合併症、術後下部尿路症状の程度）、術後再発とその期間、術後後療法の有無とその内容、術後長期の尿失禁を含む下部尿路症状の程度）</p> <p><input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ）</p> <p><input type="checkbox"/> 血液</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>利用/提供予定日（開始日 2024年8月1日）</p>
研究の意義、目的	<p>私たちは2022年から膀胱瘤や子宮脱などの骨盤臓器脱の患者さんに対してロボットを使用した仙骨腫固定術（ロボット支援腹腔鏡下仙骨腫固定術：RSC）を施行しています。年月が経過するにつれて医療者の間でもRSCに関する技術や手術前後の治療方針の変遷も認められます。われわれの責務として、その都度行ってきた手術を含めた診療がどのような成果を出せているのかを確認し、そしてその後の診療に役立てなければなりません。いままでに当院でRSCを受けられた患者さんを対象に手術後のアウトカム（成果）をいろいろな観点から分析することが目的です。</p>
研究の方法	<p>2022年から当院でRSCを受けられた患者さんを対象としています。新たに取得する情報はなく、研究を行う時点ですでに存在する診療録を見直すことで研究を行います。具体的には再発や術後に追加治療を行っているかといった骨盤臓器脱に関する事項を調査します。</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。本研究で得た各個人情報には研究の目的以外で使用することはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 旭川市緑が丘東2条1丁目1番 旭川医科大学 腎泌尿器外科 TEL：0166-68-2533</p>

研究責任者：腎泌尿器外科・講師 和田 直樹

・ 試料・情報の管理について責任を有する者
旭川医科大学学長 西川祐司